

# 前期学校評価について

平成二十七年十月二十二日

## 「前期内閣評議会」に協力いたしました

集計結果と分析結果を報告させていただきます。

この結果につきましては、全教職員に周知するともに、十月一三日の学校運営協議会において報告し、委員の皆様からご意見を頂戴しました。いただいたご意見を参考にして、全校で課題の改善に取り組んでまいります。

学年だよりや呉竹だより、学校ホームページで取組の内容や成果についてお知らせしてまいりますが、ご不明な点がありましら、担任を通して学校までお問い合わせください。

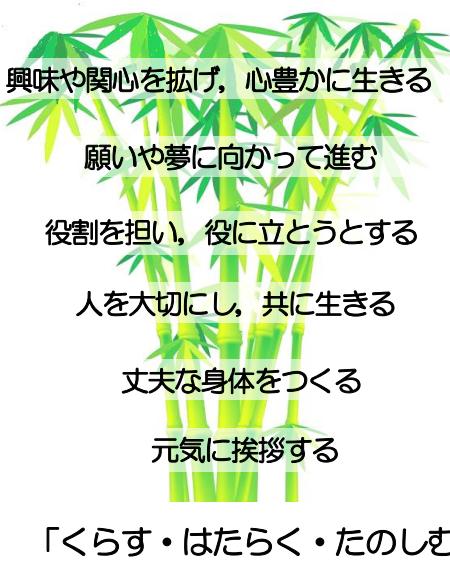
なお、後期の「学校評価アンケート」は、一月上旬に実施する予定です。よろしくお願ひいたします。

- \* 学校評価アンケートは、保護者・児童生徒・教職員のそれぞれで実施しております。学校ホームページにも掲載しますので、ご参照ください。
- \* 回答結果を7点満点に換算し、全回答の平均値を掲載しました。
- \* ニーズ度は、「重要度×（8—実現度）」で計算され、最高ポイントは49になります。
- \* 重要なことだと思われているのに、実現できていません。ないと思われているものほどポイントが高くなりませ
- \* 本年度の学校教育目標と目指す児童生徒像を掲載させていただきますので、ご参照ください。

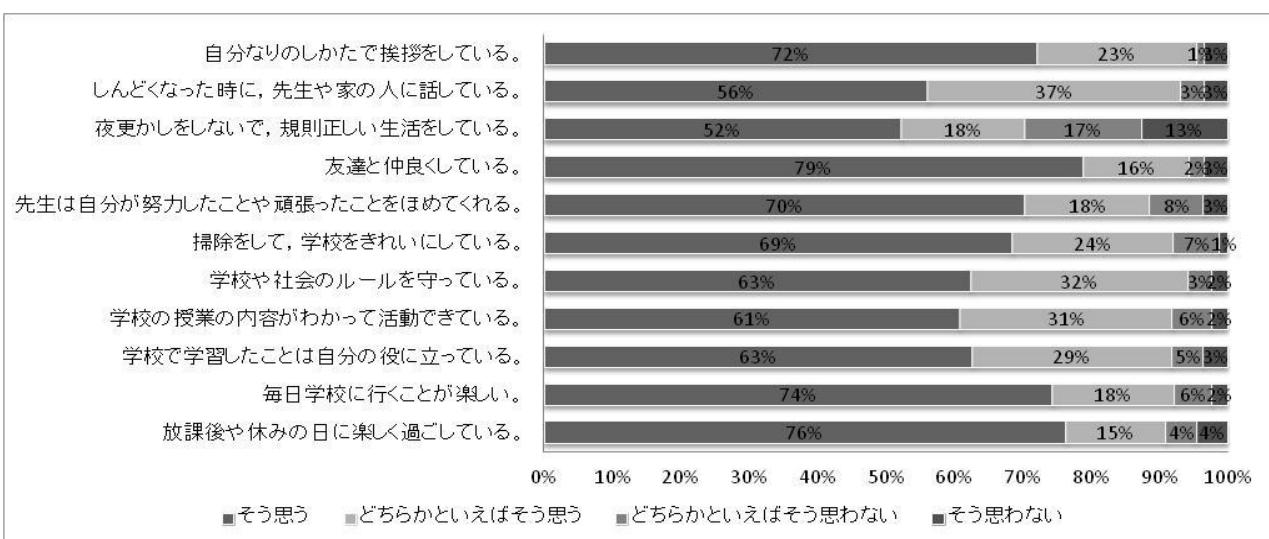
## ◎平成二十七年度学校教育目標

社会参加し、生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現するために、一人ひとりが力を発揮できる環境を整えるとともに、個々の可能性を最大限に伸ばす

### ◎目指す児童生徒像

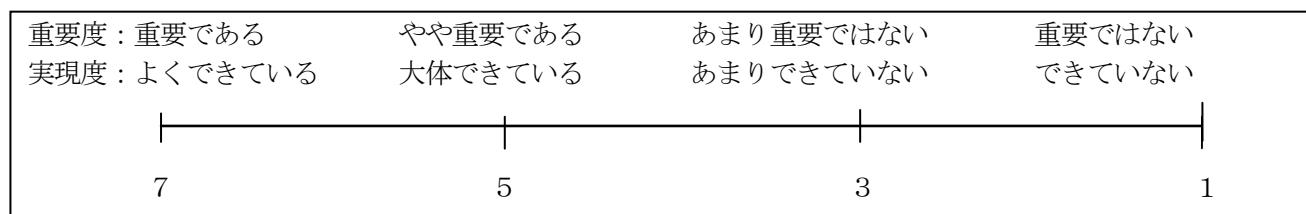


## 【学校評価アンケート結果 児童生徒】



## 【学校評価アンケート結果 保護者・教職員】

質問項目	保護者			教職員		
	重要度	実現度	ニーズ	重要度	実現度	ニーズ
<b>◆元気に挨拶する</b>						
・児童生徒は自分なりのしかたで挨拶をしている	6.2	4.9	19.2	6.7	5.5	16.8
・わたしは、児童生徒に「おはよう」等の挨拶をしている	6.3	5.2	17.6	6.8	6.4	10.9
・教職員は、保護者や来校者に挨拶をしている	6.4	6.1	12.2	6.8	6.4	10.9
<b>◆丈夫な身体をつくる</b>						
・学校では、健康維持や体力づくりに関する取組が十分に行われている	6.6	5.8	14.5	6.5	5.4	16.9
・児童生徒は、規則正しい生活を送っている	6.6	5.3	17.8	6.7	5.0	20.1
・わたしは、児童生徒が健康について意識できるように取り組んでいる （「しんどい」ことを伝える、薬を飲む、体力づくり等）	6.5	4.8	20.8	6.7	5.3	18.1
<b>◆人を大切にし 共に生きる</b>						
・児童生徒は、友達を大切にしようとする気持ちを持って、学校生活を送っている	6.5	4.6	22.1	6.7	5.4	17.4
・交流及び共同学習で、児童生徒は意欲的に活動している（居住地校交流、桃山小学校・桃山中学校・銅駒美高との交流及び共同学習等）	5.5	4.0	22.0	6.3	5.0	18.9
・児童生徒は、学習や行事を通して地域のいろいろな人と関わっている（地域の施設等での校外学習、実習等）	5.9	4.4	21.2	6.5	5.2	18.2
・わたしは、児童生徒が人と関わっていく上でのマナーやルールを身に付けられるようにしている	6.4	4.3	23.7	6.8	5.5	17.0
・学校では、ルールを守り、他人への気遣いをするなど、集団生活の基本に関する指導が行われている	6.6	5.2	18.5	6.7	5.6	16.1
<b>◆役割を担い 役に立とうとする</b>						
・学校は、児童生徒が生き生きと主体的に取り組む授業や行事をしている	6.6	5.3	18.5	6.8	5.6	12.9
・わたしは、児童生徒の「できること」をみつけて褒めている	6.6	5.2	22.4	6.8	6.1	17.4
・学校は、児童生徒の年齢や適性に応じた進路学習を行ったり、関係機関との連携をしたりしている	6.6	4.6	21.8	6.7	5.4	16.9
・保護者と学校が連携して、児童生徒の進路について考えている	6.4	4.6	17.6	6.5	5.4	17.9
<b>◆願いや夢に向かって進む</b>						
・本人および保護者の願いが十分に、個別の包括支援プランに反映されている	6.3	5.2	19.2	6.4	5.2	17.6
・保護者と学校は、児童生徒の願いや目指す姿を共有している	6.4	5.0	22.3	6.5	5.3	19.1
・児童生徒は、目標や意欲を持って活動している	6.2	4.4	21.1	6.6	5.1	18.9
<b>◆興味や関心を広げ 心豊かに生きる</b>						
・学校は、児童生徒の興味関心を広げ、個性を伸ばす授業をしている	6.4	4.7	22.6	6.5	5.1	17.3
・学校は、児童生徒の余暇活動につながる取組をしている	5.5	3.9	20.1	6.4	5.3	19.5
・児童生徒は、休日や放課後に、楽しく活動している	6.1	4.7	23.4	6.3	4.9	17.9
・児童生徒は、好きな活動や趣味をみつけて取り組んでいる	6.0	4.1	17.7	6.4	5.2	15.1
<b>◆その他</b>						
・学年だよりや学校だより、学校ホームページなどで学校の様子はよくわかる	5.9	5.0	18.0	6.3	5.6	17.3
・学校は、物品の整理・整頓や安全・事故予防に取り組んでいる	6.2	5.1	19.2	6.4	5.3	16.8



## ◆元気に挨拶する

「自分なりのしかたで挨拶をしている」という項目に、児童生徒の95%が肯定的な回答（そう思う、どちらといえばそう思う）をしています。



家庭や学校での日々の取組や、あいさつ運動などの取組を通して挨拶の習慣が身に付いてきているものと考えられます。今後も引き続き、家庭と連携しながら取り組んでいきたいと思います。

## ◆丈夫な身体を作る

30%の児童生徒が、「夜更かしをしないで、規則正しい生活をしている」という項目に否定的な回答（どちらかといえばそう思わない、そう思わない）をしています。他の項目に比べて、否定的な回答の割合が高くなっています。



規則正しい生活を送ることは、身体の調子を整えることだけでなく、精神的な安定や活動に対する意欲などとも関わってきます。

学校から働きかけて、家庭と連携して取り組むとともに、児童生徒が自分自身で生活を見直し、改善していく力をつけていけるようにしていきたいと思います。

「わたしは、児童生徒が健康について意識できるように取り組んでいる（「しんどい」ことを伝える、薬を飲む、体力づくり等）」の項目について、保護者の方の結果がやや高いニーズ度でした。

保護者の方が考えている「マナーやルール」と子どもたちが考えている「ルール」に差があり、保護者の方がより高い姿を求められていました。

でした。

不調を早めに伝えることで、早期に対応でき、早く治癒したり重篤化を防いだりすることができると考えられます。身体的なことだけではなく、精神的なことについても同じことが言えると思います。

しんどさを、家族をはじめ、周りにいる人に伝えられるような関係づくり、環境づくりをしていきたいと思います。

また、先に述べた「規則正しい生活を送ること」とあわせて、「自分の健康を意識して行動できること」は社会参加や自立した生活をおくるために大切なことであると考えられるので、個々に応じて、そのような力をつけていくべきだと思います。

度から新たに児童生徒専門委員会に保健委員会を設けました。子どもたち自身が様々な健康についてのポスター作りや発表をすることで、意識向上につながってきてているように感じます。



## ◆人を大切にし 共に生きる

「わたしは、児童生徒が人と関わっていく上でのマナーやルールを身に付けられるようにしている」の項目では、保護者が高いニーズ度でした。また、児童生徒の「学校や社会のルールを守っている」の項目では95%が肯定的な回答をしていました。

昨年度の学校運営協議会で、学校からの発信が弱いのではないかという意見をいただきました。担任からの連絡帳や学校だより、ホームページなどを通してお伝えしているのですが、十分伝えられないこともあるかと思います。引き続き、学校の取組を保護者の方にご理解いただけるように発信していきたいと思います。



いたりすることから、保護者と児童生徒の結果に差があるのでないかと考えられます。

社会の中で生活していくことを考えれば、学年や個々の実態に応じて、必要なマナーやルールを身につけていけるように、家庭と連携して取り組んでいきたいと思います。

## ◆役割を担い 役に立つとする

保護者の「進路」に関する項目が、いずれも

ニーズ度がやや高くなっています。

研修などの機会を利用して、教職員全体で進路についての意識を高めていくように取り組んでいます。しかし、教職員の中にも、進路イコール高等部卒業時にといった思いがあることは否めません。

キヤリア発達（社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程）の視点から、小学校段階から一人ひとりの実態や学年に応じて、キヤリア教育（一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる通して、キヤリア発達を促す教育）に取り組んでいく必要があるといわれています。



小学部から、児童生徒の実態に合わせて、清掃や給食、当番などの役割活動に取り組んでいます。このよう

うな取組で培った力が社会的・職業的自立に向けた力につながっています。

引き続き、進路だよりや進路学習会や研修、見学会等を通して、進路やキヤリア教育の理解を深めていくとともに、保護者と一緒に、児童生徒の進路について考えていくようにしていきたいと思います。

### ◆願いや夢に向かって進む

「本人および保護者の願いが十分に、個別の包括支援プランに反映されている」の項目や、「保護者と学校は、児童生徒の願いや目指す姿を共有している」の項目に比べ、「児童生徒は、目標や意欲を持つて活動している」の項目の二

ニーズ度は、やや高くなっていました。児童生徒の「学校の授業の内容がわかつて活動している」と「学校で学習したことは自分の役に立つている」の項目の肯定的な回答はともに92%でした。

児童生徒の目標やめざす姿については、懇談会等でお伝えしていますが、その内容と活動のねらいを結び付けてお伝えすることがうまくできていないのではないかと考えられます。

さらに、教職員が連携し、個々の児童生徒のねらい等の共有をしていくとともに、保護者に授業のねらいや内容をお伝えしていきたいと思います。障害特性から目標や意欲を持つことが苦手だったり表出することが苦手だったりすることから、実態として「子どもが目標や意欲を持って活動している」かどうかがわかりにくいという感じなのではないかと思います。

授業づくりに生かすために「ユニット計画・記録表」を作成したり、授業研究会や授業を紹介しあう機会を設けたりしています。今後も、すべての児童生徒が意欲的に取り組め、「主体的な活動」ができる授業づくりに取り組んでいきたいと思います。

また、授業の個々の目標や支援のしかたなどを、担任や授業を行う指導者で確認し、児童生徒の活動に価値を見出していけるようにしていきたいと思います。

### ◆興味や関心を拓げ 心豊かに生きる

「学校は、児童生徒の余暇活動につながる取組をしている」と「児童生徒は、好きな活動や趣味をみつけて取り組んでいる」の項目の保護者のニーズ度はやや高くなっていました。

生活の幅を広げたり、生活の質を高めたりするためにも、好きなことや趣味を見つけ、楽しく過ごせる時間を持つことや、楽しみに思える時間を持つことは大切なことであると思いま

す。

読書活動や授業の中でいろいろな運動や音楽、造形などの芸術活動を行なったり、校外活動でいろいろな場所へ出かけて見聞を広げたりする機会を設けています。また、放課後に部活動に取り組んだり保、護者が中心になり地域の方たちとも連携して余暇体験サークルを行なったりしています。今後も、家庭と連携して、児童生徒の興味や関心を拓げ、好きなことを見つけたり余暇を充実して過ごしたりできるように取り組んでいきたいと思います。

### ◆その他

環境の整備について、本年度、窓枠の改修や屋根の改修などを行いました。また、毎月、安全点検表を利用して校内を点検したり全教職員で環境整備を行なったりしています。

また、マニュアルを作成したりシミュレーションを行なったりして、緊急時に備えるとともに、複数での確認や給食カレンダーを活用するなどして、給食のアレルギー食の誤配等の予防に努めています。

今後も、安全に気を配るとともに、活動しやすいように環境を整えていきたいと思います。

